

# 地域保健課



### Ⅲ 地域保健課の業務概要

地域保健課は、管内市町及び関係機関と連携を図りながら、住民の健康づくり及び効果的な保健福祉サービスの推進に努めている。

#### <地域保健に関すること>

##### 1 保健師関係指導事業

保健師は地域保健課・健康生活支援課に配置され、家庭訪問等個別指導を実施するとともに、所内及び市町の保健師活動の窓口として調整・支援を行っている。管内保健師活動の把握と資質向上のため、研修会や会議等を開催した。

##### 2 母子保健事業

管内の母子保健事業の推進と、適切かつ効果的なサービス提供を目的に、各市町、関係機関等と連携をとりながら、母子保健推進協議会、思春期保健事業、長期療養児支援などを実施した。

##### 3 成人・老人保健事業

介護老人保健施設に対し、サービスの質の確保、入所者の尊厳の保持、高齢者虐待防止法の趣旨を踏まえ、看護及び栄養面等の実地指導を監査指導課とともに実施した。

##### 4 一人ひとりに応じた健康支援事業

生涯を通じて、住民一人ひとりが年代や性別、健康状態や生活習慣に応じた確かな自己管理ができるよう、健康教育事業と健康づくりの支援体制のひとつとして、電話相談を実施した。

##### 5 総合的な自殺対策推進事業

平成28年4月自殺対策基本法の改正により、都道府県及び市町村は、大綱及び地域の実情などを勘案して、地域自殺対策計画を策定するものとされた。当センターでも地域の実情に応じた対策を実施するための支援と、市町との連携対策を強化することで、自殺対策に理解のある地域づくりを推進している。

また、当センター主催の講習会等の機会を活用し、啓発物資を配布する等普及啓発に努めた。

##### 6 地域・職域連携推進事業

生活習慣病予防と健康寿命の延伸を図るために、地域保健と職域保健の関係者が連携し、地域の健康課題の解決に向けて、事業を展開している。

令和元年度は、たばこ対策に取り組み山武健康福祉センター地域・職域連携推進協議会を1回、作業部会を1回開催した。また事業所で職域を対象に「たばこの害」「禁煙」「受動喫煙防止対策」等をテーマとした健康教育や事業のPRを行った。

##### 7 栄養改善事業

生活習慣病予防と望ましい食生活の普及・定着を図るため、健康教育・栄養指導等を実施した。給食施設指導では、利用者の健康づくりを目的とした食事が提供されるよう各給食施設に対し巡回指導を実施した。併せて給食施設管理者及び従事者を対象とした講習会を開催し、栄養管理の向上と衛生管理の徹底に努めた。

## 8 歯科保健事業

難病患者及びその家族に対し、歯・口腔内の健康の維持増進を図ることを目的に、口腔ケアの重要性や方法等について講演会及び実習を行った。

## 9 精神保健福祉事業

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づき、申請・通報・届出等に係る法施行業務を実施した。

また、住民の心の健康の保持増進を図るため心の健康相談や訪問指導、精神障害者家族支援、依存症自助グループの支援を通し、地域の自助グループの育成を図った。関係機関、関係職種との連携を深めるため各種会議等に参画した。

## 10 肝炎治療特別推進事業

平成24年4月に千葉県肝炎対策推進計画が策定され、平成27年より肝炎ウイルス検査実施後のウイルス性肝炎陽性者を、早期に治療につなげ重症化予防を図ることを目的として、千葉県ウイルス性肝炎患者等重症化予防推進事業が開始された。またB型ウイルス性肝炎及びC型ウイルス性肝炎の治癒を目的として、平成20年度より医療費助成制度が開始された。

### 11 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業

B型・C型肝炎に起因する肝がん・重度肝硬変患者の医療費の負担軽減を図りつつ、治療効果、生命予後や生活の質を考慮し、最適な治療を選択できるようにするための研究を促進することを目的に実施している。知事が指定する指定医療機関において3ヶ月以上入院し、高額医療費の支給される者かつ、重度肝硬変（Child-pugh 分類で7点以上）の者に医療費の助成をしている。条件として1) 肝がん・重度肝硬変と診断されて入院治療を受けている、2) 所得が決められた範囲にある（世帯の合計年収がおおむね370万円未満）、3) 肝がん・重度肝硬変治療の研究に協力すること、としている。

### 12 難病対策事業

平成27年1月1日より「難病の患者に対する医療等に関する法律」に基づき、特定医療費（指定難病）支給認定事業と難病相談事業を実施している。

特定医療費（指定難病）支給認定申請事業においては、333疾病（令和元.7.1現在）を対象に自己負担の軽減を図っている。

難病相談事業においては、患者・家族が抱える医療や療養生活上の問題等に対して、専門医や保健師・難病訪問相談員等により訪問、相談、講演・交流会等を開催し、安定した療養生活の確保と難病患者及びその家族の生活の質の向上に努めた。

### 13 受動喫煙対策

健康増進法により、令和元年7月1日に子どもや患者等が主な利用者となる施設は原則敷地内禁煙となった。また、令和2年4月1日から多くの人が利用する全ての施設において原則屋内禁煙となることと併せ、既存の講習会等を活用し、普及啓発に努めた。施設からの問合せや県民からの苦情等に基づく助言・指導等を行うとともに、指導によって改善が認められない場合等必要に応じて立入検査を実施した。

#### 14 市町支援

母子保健関連会議、地区組織育成、健康づくり推進協議会等に参加し、広域の見地から市町事業が円滑に推進できるよう支援を行った。また、児童虐待への対応として市町が設置している要保護児童対策地域協議会の代表者会議や実務担当者会議、個別支援会議に母子保健を担う立場で参画した。

なお、台風到来による被災状況、保健医療福祉ニーズを把握し、市町に対し必要な支援を行った。

## 1 保健師関係指導事業

地域保健活動の推進のため、管内保健師や関係機関と連携を図り、研修会等を通して資質向上と連携強化を目指して現任教育に取り組んでいる。

### (1) 管内概況

管内保健師の就業状況は表1-(1)のとおりである。近年は保健衛生部門だけでなく、他部門への配置が増えつつある。

表1-(1) 管内保健師就業状況（平成31年4月1日現在）

(単位：人)

区 分 年 度	総数	保健所	市 町 村			
			保健衛生	福祉	介護保険	その他
平成29年度	72	9	49	1	13	—
平成30年度	72	8	52	—	12	—
令和元年度	72	9	50	—	12	1
東金市	14		11	—	3	—
山武市	16		13	—	3	—
大網白里市	15		12	—	3	—
九十九里町	3		3	—	—	—
芝山町	6		4	—	2	—
横芝光町	9		7	—	1	1

(2) 保健所保健師活動

保健師は地域保健課と健康生活支援課に所属しており、家庭訪問、面接、電話やメールで保健指導を行っている。

表 1 - (2) 家庭訪問等個別指導状況 (令和 2 年 3 月 3 1 日現在)

(単位：件)

区 分 種 別	家庭訪問		訪 問 以 外 の 保 健 指 導				個別の連携 ・連絡調整
			面 接		電 話	メー ル	
	実数	延数	実数	延数	延数	延数	延数 (再掲：会議)
総 数	91	224	275	354	1833	29	850(32)
感 染 症	19	19	0	0	219	0	39
結 核	20	72	19	71	157	3	187
精 神 障 害	7	18	0	0	3	0	0
長 期 療 養 児	4	6	14	15	35	0	39(1)
難 病	36	103	201	222	136	26	536(26)
生 活 習 慣 病	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他 の 疾 病	0	0	0	0	1059	0	0
妊 産 婦	0	0	0	0	28	0	28(5)
低出生体重児 (未熟児)	0	0	0	0			
乳 幼 児	4	5	32	37	196	0	21
そ の 他	1	1	9	9			
訪問延世帯数	72	210					

(3) 保健師関係研修(研究)会実施状況

ア 管内保健師業務連絡研究会

表1-(3)-ア 管内保健師業務連絡研究会実施状況

開催年月日	テーマ	主な内容	参加人員
令和元年 5月27日	令和元年度の保健師の活動計画について	1 令和元年度管内保健師業務連絡研究会実施計画書について 2 管内市町、健康福祉センターの令和元年度保健師活動計画及び重点活動の報告、情報交換等	36名
令和元年 8月1日	精神疾患(疑い含む)事例等の支援について	1 事例検討会 「精神疾患(疑い含む)事例等の支援について」 (1) 母子事例について 山武市 (2) 母子事例について 東金市 (3) 成人事例について 当センター 2 講演「ちば心理教育研究所の紹介及び効果的な事例検討の方法等について」 講師 ちば心理教育研究所 所長 光元 和憲 氏	19名
令和元年 9月4日	災害時の保健活動について	1 講演 (1) 災害時に想定される疾患と救急対応等について 東千葉メディカルセンター 救急認定看護師 有澤 文孝 氏 (2) 避難所の感染予防対策について 東千葉メディカルセンター 感染管理認定看護師 阿内 剛 氏	25名
令和元年 11月5日	保健活動業務研究	1 講演「業務研究の意義とレポート作成のポイント」 講師：千葉県立保健医療大学健康科学部 看護学科 准教授 細谷紀子 氏 2 保健活動業務研究発表 (健康福祉センター1題、市町3題) 3 講評、助言	27名



イ 所内保健師研究会

表 1 - (3) - イ 所内保健師・看護師研究会実施状況

開催年月日	主 な 内 容	参加人員
平成 31 年 4 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所内研の年間計画</li> <li>・ 平成 31 年度保健活動・保健事業計画について</li> <li>・ 保健活動業務研究について</li> <li>・ 学生実習 ・ 保健師保健指導状況及び日月報の作成</li> </ul>	11 名
令和元年 6 月 10 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事例検討「パーキンソン病患者の支援について」</li> </ul>	8 名
令和元年 8 月 9 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事例検討 「百日咳発生届出状況と保健所の対応について」</li> </ul>	8 名
令和元年 8 月 29 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学生実習について</li> <li>・ 保健活動業務研究</li> <li>・ 医療機関立入説明会の復命</li> </ul>	9 名
令和元年 10 月 8 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保健活動業務研究</li> </ul>	8 名
令和元年 10 月 15 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事例検討「モヤモヤ病患者の支援について」</li> </ul>	9 名
令和元年 11 月 15 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保健活動業務研究</li> </ul>	10 名
令和元年 12 月 9 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事例検討「肺結核患者 2 例の経過及び支援について」</li> </ul>	9 名
令和 2 年 2 月 10 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事例検討 「親と子の心の相談」からアウトリーチ、受診・入院に つながったケースの検討</li> <li>・ 現任教育</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症対応について</li> </ul>	8 名

ウ 保健所保健師ブロック研修会

表 1 - (3) - ウ 保健所保健師ブロック研修会実施状況

令和元年度は香取健康福祉センターが担当し、開催した。

開催年月日	主 な 内 容	参加人員
—	—	—

エ その他

表1-(3)-エ その他

開催年月日	主な内容	参加人員
令和元年 6月25日	管内保健師現任教育担当者会議 1 現任教育体制に関する取り組みの現状と課題 (1) 講話「千葉県の現任教育の現状と取り組み」 千葉県健康づくり支援課 地域健康づくり班 主幹 篠崎 久美 氏 (2) 報告「各所属の現任教育体制に関する取り組み の現状と課題について」 (3) 意見交換 2 経験年数別研修について	14名
令和元年 12月18日	保健師経験年数別・中堅後期保健師研修会 *健康福祉センター管内レベル、山武・香取・海匠健康福祉 センター合同で開催した。 1 講演「後輩保健師へのメッセージ」 講師 銚子市健康づくり課 保健事業室長 高橋 玲子 氏 2 グループワーク 「10年後になりたい保健師像 ー先輩保健師からのメッセージをもとにー」	19名
令和2年 2月27日	災害時保健活動責任者・担当者会議 1 令和元年度台風15号被災を中心とした 保健活動について各機関から報告 2 今後の災害時保健活動における課題の検討 ※新型コロナウイルス感染症対応のため、書面開催	書面開催

(1) 管内看護管理者研修会

表1-(4) 看護管理者研修状況

開催年月日	主な内容	参加人員
令和元年 9月2日	講演「外国人の方への医療提供を考える」 ～看護職としての心構えや準備～ 講師 千葉大学大学院看護学研究科・看護学部 教授 野地 有子 氏	20名

## 2 母子保健事業

管内の母子保健事業の推進と適切かつ効果的なサービス提供を目的に、各市町、関係機関等と連携を図りながら母子保健推進協議会や思春期保健事業、長期療養児支援などを実施した。

### (1) 母子保健推進協議会

管内における母子保健施策の効果的な推進を図るため、管内市町や関係機関等と管内の母子保健の課題について協議する。

表 2 - (1) 母子保健推進協議会実施状況

開催年月日	委員数	主な協議内容
令和2年 1月27日	15名	1 管内母子保健事業の今年度実施状況と次年度計画について 2 要支援妊産婦の支援状況と基準の設定について

### (2) 旭中央病院との母子保健連絡会議

国保旭中央病院と海匝・香取・山武地域との連携を図り、妊産婦・乳幼児への切れ目ない支援体制を推進することを目的に会議を開催した。

表 2 - (2) 旭中央病院との母子保健連絡会議実施状況

開催年月日	参加者数・職種	主な協議内容
令和元年 7月1日	42名 健康福祉センター及び市町の保健師、医療機関の医師・助産師・看護師等	1 千葉県における子育て世代包括支援センター設置状況について 2 産後ケア事業について 3 講演「NICUを卒業する医療的ケア児や障害児が地域で安定した療養生活を送るために」

### (3) 母子保健に関わる会議

管内産科医療機関と市町母子保健担当者との連携を図り、効果的な母子保健事業の推進を図ることを目的に会議を開催した。

表 2 - (3) 母子保健に関わる会議の開催状況

研修会の名称	開催年月日	参加者数・職種	内容
令和元年度 山武健康福祉センター管内母子保健連絡会議	令和元年 10月25日	16名 管内市町の保健師、管内産科医療機関	1 管内産科医療機関と市町との連携について 2 要支援妊産婦対象者の基準について 3 その他

(4) 人工妊娠中絶届出

母体保護法第25条により管内の医師から届出があった人工妊娠中絶実施報告書に基づく妊娠週数・年齢階級別届出状況である。

表2-(4) 人工妊娠中絶届出状況

(単位：人)

区分 妊娠週数	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度									
			総 数	20 歳 未 満	20 歳 ～ 24	25 歳 ～ 29	30 歳 ～ 34	35 歳 ～ 39	40 歳 ～ 44	45 歳 ～ 49	50 歳 以 上	不 詳
総 数	31	24	18	0	1	2	3	5	6	1	0	0
満7週以前	16	9	10	0	0	0	1	4	4	1	0	0
満8週～満11週	8	6	4	0	1	0	1	0	2	0	0	0
満12週～満15週	3	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
満16週～満19週	4	5	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
満20週～満21週	0	2	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0
不 詳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(5) 特定不妊治療費助成事業

不妊治療のうち医療保険が適用されず高額な医療費がかかる体外受精及び顕微授精について、治療に要する費用の一部を助成することで、不妊に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図ることを目的としている。千葉県特定不妊治療助成費事業実施要綱に基づき治療費の一部助成を平成17年1月から実施しており、平成28年1月から男性不妊治療（精子を精巣または精巣上体から採取する手術）を行った場合も助成の対象となっている。

ア 特定不妊治療費助成制度事業

表2－(5) 特定不妊治療費助成実施状況

(単位：件)

年度・市町村	件数		延件数内訳			
	実件数	延件数	体外受精	顕微授精	男性不妊	その他
平成29年度	58	92	26	23	0(0)	43
平成30年度	62	96	17	42	0(1)	37
令和元年度	60	100	22	37	0(0)	41
東金市	18	30	※男性不妊の件数は男性不妊治療単独の助成件数であり ( )内の数値は、特定不妊治療を伴う男性不妊治療の 助成件数である。			
山武市	12	25				
大網白里市	15	21				
九十九里町	7	12				
芝山町	0	0				
横芝光町	8	12				

(6) 小児慢性特定疾病医療費助成制度事業

小児慢性特定疾病医療費助成制度は、慢性疾患により長期にわたり療養を必要とする児童等の健全な育成を図るため、16疾患群762疾病（令和元年7月1日）を対象に、その治療に対する研究等に資する医療の給付を実施する制度である。管内においては悪性新生物と内分泌疾患が多くみられているが、全体数は減少傾向にある。

表2－(6) 小児慢性特定疾病医療費助成制度受給者状況

(単位：件)

疾 患 名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	東金市	山武市	大網白里市	九十九里町	芝山町	横芝光町
総 数	112	104	107	30	28	27	7	1	14
1 悪性新生物	18	16	17	6	1	4	1	1	4
2 慢性腎疾患	13	10	9	3	2	3	1	0	0
3 慢性呼吸器疾患	5	5	6	2	1	0	2	0	1
4 慢性心疾患	15	12	11	2	4	3	1	0	1
5 内分泌疾患	25	20	16	3	6	3	1	0	3
6 膠原病	4	4	6	1	1	1	0	0	3
7 糖尿病	7	7	5	1	3	0	0	0	1
8 先天性代謝異常	2	2	2	1	1	0	0	0	0
9 血液疾患	2	1	2	1	1	0	0	0	0
10 免疫疾患	1	2	4	1	1	2	0	0	0
11 神経・筋疾患	6	7	6	2	1	2	0	0	1
12 慢性消化器疾患	11	11	14	5	3	6	0	0	0
13 染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	3	4	5	1	2	1	1	0	0
14 皮膚疾患	0	1	1	0	0	1	0	0	0
15 骨系統疾患	-	2	3	1	1	1	0	0	0
16 脈管系疾患	-	0	0	0	0	0	0	0	0

(7) 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

児童福祉法第19条の22に基づき、慢性的な疾病にかかっていることにより、長期にわたり療養を必要とする児童等の健全育成及び自立支援を図るため、小児慢性特定疾病児童等及びその家族からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言、関係機関との連絡調整等を行う。

ア 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業（研修会、講演会、交流会等）

表2-（7）-ア 小児慢性特定疾患児童等自立支援事業

名 称	実施年月日	参加人数・ 内 訳	内 容
令和元年度 小児慢性特 定疾病児童 等自立支援 事業講演会	令和2年 1月29日	35人 教育・福祉・ 保健・医療 関係者等	講演 「医療的ケア児の地域支援」 1 「医療的ケアが必要な障害児者の現状 とこれから」 千葉県千葉リハビリテーションセン ター 愛育園長 第一小児科部長 石井 光子 氏 2 「医療的ケア児の就園に向けた実際の 取り組みについて」 山武市保健福祉部子育て支援課 3 「医療的ケア児をもつ保護者として伝 えたいこと」 小児慢性特定疾病児童の保護者 4 「山武健康福祉センター管内の小児慢 性特定疾病受給者の現状」 山武健康福祉センター 地域保健課

イ 療育相談指導事業（療育指導連絡票に基づくもの）

表2-（7）-イ 療育相談指導内容

（単位：人）

内 容	平成29年度	平成30年度	令和元年度
相 談 者 数 （ 延 ）	0	0	2
家 庭 看 護 指 導	0	0	0
食 事 ・ 栄 養 指 導	0	0	0
歯 科 保 健 指 導	0	0	0
福 祉 制 度 の 紹 介	0	1	0
精 神 的 支 援	0	1	2
学 校 と の 連 絡	0	0	0
家 族 会 等 の 紹 介	0	1	0
そ の 他	0	0	0

ウ 訪問指導事業（訪問相談員派遣を含む）

表2－（7）－ウ 訪問指導事業実施状況(疾患別)

(単位：件)

疾 患 名	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総 数	7	14	6
気道狭窄	3	5	4
慢性肺疾患	0	0	1
18トリソミー症候群	2	4	1
ダウン症候群	1	4	0
甲状腺機能低下症	1	1	0

エ 窓口相談事業

表2－（7）－エ 相談内容

(単位：人)

内 容	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
相 談 者 数 ( 延 )	16	20	15
申 請 等	0	9	5
医 療	0	3	2
家 庭 看 護	8	4	5
福 祉 制 度	3	4	1
就 労	0	0	0
就 学	0	0	0
食 事 ・ 栄 養	1	0	0
歯 科	0	0	0
そ の 他	4	0	2

(8) 療育の給付制度

療育医療（児童福祉法第21条の9）は、結核で長期療養を必要とする児童を指定医療機関に収容して医療給付を行う他、学用品や日用品の給付を行うものである。令和元年度の申請はなかった。

(9) その他の相談

ア 親と子の心の相談

妊産婦、乳幼児、児童等の心の問題に対して医師、臨床心理士等による相談、支援を実施した。

表2－（9） 親と子の心の相談実施状況

(単位：件)

区分 年度	回 数	相 談 数		延数に対する相談結果		
		実 数	延 数	相談終了	経過観察	他機関紹介
平成 29 年度	7	10	10	7	2	1
平成 30 年度	10	19	20	8	6	5
令和元年度	10	26	28	11	11	6



(10) 旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた者に対する一時金の支給等について

旧優生保護法の下、特定の疾病や障害を有することを理由に優生手術や放射線の照射を受けることを強いられ、心身に多大な苦痛を受けた者に対し、一時金を支給する。

表2－(10) 管内居住者からの相談及び請求受付件数(センター受付分)

年度	請求受付件数	相談件数(延べ)		
		電話等相談	来所相談	計
平成29年度	—	—	—	—
平成30年度	—	—	—	—
令和元年度	2	5	3	8

※一時金の支給に関する相談及び請求は健康福祉部児童家庭課でも居住地に関わらず受け付けている。

### 3 成人・老人保健事業

介護老人保健施設に対し、サービスの質の確保、入所者の尊厳の保持、高齢者虐待防止法の趣旨を踏まえ、看護及び栄養面等の実地指導を行った。

また、がん検診の受診率向上のため、各市町健康づくり推進員等を対象に講習会を開催した。

(1) 介護サービス施設・事業所設置状況

管内には、介護老人保健施設6施設・訪問看護ステーション11施設がある。

(資料編に記載のとおり)

ア 介護老人保健施設実地指導

千葉県老人保健施設実地指導要綱に基づき、1施設について実地指導を行った。

表3－(1)－ア 介護老人保健施設実地指導状況

実施年月日	介護老人保健施設
令和元年9月18日	介護老人保健施設 松尾リハビリ苑

(2) がん検診推進員育成講習会

各市町の健康づくり推進員、保健推進員及び食生活改善推進員等(以下「推進員等」という。)に対し講習会を行い、がん検診推進員として育成し、これらの人材の協力を得て、各地域でがん検診の声かけ運動等を実施することにより、受診率の向上を図る。

表3－(2) がん検診推進員育成講習会

開催年月日	参加者数	内容
令和元年12月3日	42名	講演：肺がんの予防と早期発見のために ～肺がん検診と禁煙のポイント～ 講師：公益財団法人ちば県民保健予防財団 総合健診センター長 鈴木 公典 氏

がん検診推進員育成講習会については、印旛健康福祉センターと交替で開催しており、令和元年度は、山武健康福祉センターが担当した。

#### 4 一人ひとりに応じた健康支援事業

平成 25 年度以降は、「性差を考慮した健康支援事業」から「一人ひとりに応じた健康支援事業」に名称を改めて事業を展開している。生涯を通じて一人ひとりが年代や性別、健康状態や生活習慣に応じ、的確な健康の自己管理ができるよう、健康づくりの支援体制を充実することを目的としている。

##### (1) 健康教育事業

令和元年度は、思春期の年齢層にかかわる支援者を対象に、適切な対応ができるよう講演会を開催した。

表4－(1) 健康教育事業

開催年月日	健康教室	参加人員
令和元10月3日	講演「思春期の子どもとのかかわり方 ～今どきの子どものこころに向き合いながら～」 講師 特定非営利活動法人 子どもセンター帆希 臨床心理士 寶川 由美子 氏	25名

##### (2) 健康相談事業

平成 23 年度までは女性のための定例相談を実施していたが、平成 24 年度より電話相談のみ実施している。令和元年度の相談件数は 83 件であった。

表4－(2) 健康相談実施状況（電話）

(単位：件)

区分 年度	男	女	総数
平成 29 年度	30	34	64
平成 30 年度	19	17	36
令和元年度	27	56	83

#### 5 総合的な自殺対策推進事業

管内の自殺者数は減少しているが、自殺死亡率は全国や千葉県と比較して高い状態が続いている。地域の実情に応じた対策を実施するための支援と、市町と連携対策を強化することで、自殺対策に理解のある地域づくりを推進している。当センター主催の研修会等で啓発物資を配布する等普及啓発に努めた。

## 6 地域・職域連携推進事業

生涯を通じた継続的な保健サービスの提供体制を整備し、生活習慣病等の予防を図ることを目的として、地域保健・職域保健の関係者が情報を共有し、健康課題を抽出し、共同で保健事業を実施していくために、管内の関係機関の代表等を構成員とした山武地域・職域連携推進協議会を開催した。

地域の健康課題である「たばこ対策」に平成30年度から3か年計画で取組んでおり、協議会を1回、作業部会を1回開催。実施計画や評価方法等について協議し、表6－(3)のとおり共同事業を実施した。

表6－(1) 山武地域・職域連携推進協議会開催状況

開催年月日	参加数	主 な 内 容
令和2年 2月5日	22名	1 令和元年度事業実績について 2 令和2年度事業計画（案）について

表6－(2) 山武地域・職域連携推進協議会作業部会開催状況

開催年月日	参加数	主 な 内 容
令和元年 7月30日	17名	1 地域・職域連携推進事業の概要及び現状について 2 令和元年度実施計画及び取組状況について

表6－(3) 共同事業開催状況

開催年月日	主 な 内 容
1 健康教育 令和元年 4月23日	母子保健推進員委嘱式 内容：たばこの害と受動喫煙防止対策について 参加人数：29名
令和元年 4月24日	母子保健推進協議会総会 内容：たばこの害と受動喫煙防止対策について 参加人数：35名
令和元年 5月14日	令和元年度山武保健所管内食生活改善協議会・研修会 内容：改正健康増進法（受動喫煙防止対策）について 参加人数：57名
令和元年 6月7日	全国安全週間説明会 内容：たばこの害と受動喫煙防止対策について 参加人数：80名
令和元年 6月12日	給食施設衛生講習会 内容：改正健康増進法（受動喫煙防止対策）について 参加人数：155名

<p>令和元年 7月1日</p>	<p>管理栄養士によるミニ講座（事業所対象健康教育） 内容：生活習慣病予防の食事とたばこについて 参加人数：160名</p>
<p>令和元年 7月3日</p>	<p>管理栄養士によるミニ講座（事業所対象健康教育） 内容：普段の食事をバランスの良い食事に近づけることができるコツ」（食事、運動、受動喫煙について） 参加人数：450名</p>
<p>令和元年 7月26日</p>	<p>東金商工会議所労務協議会 情報交換会 内容：受動喫煙防止対策と健康増進法改正について 参加人数：9名</p>
<p>令和元年 8月27日</p>	<p>食品衛生責任者養成講習会 内容：たばこの害と受動喫煙防止対策について 参加人数：66名</p>
<p>令和元年 9月6日</p>	<p>全国労働衛生週間説明会 内容：受動喫煙防止対策と改正健康増進法について 参加人数：66名</p>
<p>令和元年 11月19日</p>	<p>千葉県調理師講習会 内容：「栄養と健康」「食品衛生」（生活習慣病予防、受動喫煙対策等） 参加人数：15名</p>
<p>令和元年 12月3日</p>	<p>がん検診推進員育成講習会 内容：「肺がんの予防と早期発見のために～肺がん検診と禁煙のポイント～」「管内のたばこの現状と受動喫煙防止対策について」 参加人数：42名</p>
<p>2 啓発物資の 作成・配布</p>	<p>1 啓発物資の作成 「お住まいの市町の健康に関するサービス一覧」 2 配布資料 「知っておきたい たばこと健康について」 「COPDを知っていますか」 3 配布先 健康教育参加者、関係機関等</p>

## 7 栄養改善事業

住民の健康の保持増進を図るため、栄養改善・健康づくりに関わる各種事業を実施した。

### (1) 健康増進（栄養・運動等）事業

地域住民に対し、健康増進（栄養・運動等）指導を通じライフステージに応じた正しい生活習慣の普及啓発を図り、健康意識の向上に努めた。

表7－(1) 健康増進（栄養・運動等）指導状況

(単位：人)

		個別指導延人員								集団指導延人員						
		栄養指導	(再掲) 病態別 栄養指導	(再掲) 訪問による栄養指導	運動指導	(再掲) 病態別 運動指導	休養指導	禁煙指導	その他	栄養指導	(再掲) 病態別 栄養指導	運動指導	(再掲) 病態別 運動指導	休養指導	禁煙指導	その他
実施数	妊産婦	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	乳幼児	—	—	—	/	/	/	/	—	—	—	/	/	/	/	—
	20歳未満 (妊産婦・乳児を除く)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	20歳以上 (妊産婦除く)	2	—	—	—	—	—	114	—	720	19	—	—	—	55	—
(再掲) 医療機関等へ委託	妊産婦	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	乳幼児	—	—	—	/	/	/	/	—	—	—	/	/	/	/	—
	20歳未満 (妊産婦・乳児を除く)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	20歳以上 (妊産婦除く)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

ア 病態別個別指導

表 7 - ( 1 ) - ア 病態別個別指導状況 (単位：人)

種別	区分	計	生活習慣病	難病	アレルギー疾患	摂食障害	その他
病態別栄養指導		—	—	—	—	—	—
病態別運動指導		—	—	—	—	—	—

※生活習慣病は、がん・高血圧・心臓病・高脂血症・糖尿病・肥満・貧血に関する指導をした場合に計上する。

イ 病態別栄養教室・講座等実施状況

表 7 - ( 1 ) - イ 病態別栄養教室・講座等実施状況

名称	開催年月日	対象者	参加数	内容
炎症性腸疾患療養者の病態栄養講演会	令和元年 11月13日	炎症性腸疾患療養者とその家族	19名	講演「炎症性腸疾患 寛解期の食事～家庭での食事・外出先での食事～」 講師 医療法人社団康喜会 辻仲病院 柏の葉 管理栄養士 佐藤沙織 氏

ウ 地域における健康づくり推進事業

表 7 - ( 1 ) - ウ 地域における健康づくり推進事業実施状況

名称	開催年月日	対象者	参加数	内容
健康づくり研修会	令和元年 11月1日	管内市町栄養士、給食施設の管理者、栄養士、調理師等	57名	1 講演「大量調理における調理の工夫」 講師 淑徳大学看護栄養学部 栄養学科教授 桑原節子 氏 2 グループワーク

エ 国民（県民）健康・栄養調査

表 7 - ( 1 ) - エ 国民（県民）健康・栄養調査状況

調査名	調査地区（対象）	調査年月日・調査内容等
国民健康・栄養調査	該当地区なし	

オ 特別用途食品・食品に関する表示指導・普及啓発実施状況

表7-(1)-オ-(ア) 食品に関する表示相談・普及啓発実施状況

		業者への相談対応・普及啓発				
		相談(個別)		普及啓発(集団)		
		実相談食品数	延相談件数	回数	延対象者数	内容 (講習会等)
特別用途食品及び特定保健用食品について		— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	
食品表示基準に ついて (保健事項)	栄養成分	59	70	13	1846	食品衛生講習会等
	特定保健用食品	—	—	—	—	
	栄養機能食品	—	—	—	—	
	機能性表示食品	—	—	—	—	
	その他※	—	—	—	—	
健康増進法第31条第1項(虚偽誇大広告)		—	—	—	—	
その他一般食品について(いわゆる健康食品を含む)		—	—	—	—	
		県民への相談対応・普及啓発				
		相談(個別)		普及啓発(集団)		
		延相談件数		回数	延対象者数	内容 (講習会等)
特別用途食品及び特定保健用食品について		— (—)		— (—)	— (—)	
食品表示基準に ついて (保健事項)	栄養成分	1		4	139	管内食生活改善 協議会研修会等
	特定保健用食品	—		—	—	
	栄養機能食品	—		—	—	
	機能性表示食品	—		—	—	
	その他※	—		—	—	
健康増進法第31条第1項(虚偽誇大広告)		—		—	—	
その他一般食品について(いわゆる健康食品を含む)		—		—	—	

※栄養成分以外の内容だった場合(特保、栄養機能食品、機能性表示食品は除く) ( )内は、特定保健用食品再掲

表7-(1)-オ-(イ) 食品表示等に関する指導状況(表示違反への対応)

		指導状況(個別)	
		実指導食品数	延指導件数
食品表示基準について (保健事項)	栄養成分※	2(—)	2(—)
	機能性表示食品	—	—
	その他	—	—
健康増進法第31条第1項(虚偽誇大広告)		5	6
その他一般食品について(いわゆる健康食品を含む)		—	—

※ 栄養機能食品、特定保健用食品を含む ( )内は、栄養機能食品、特定保健用食品再掲

表7- (1) -オ- (ウ) 特別用途食品許可取り扱い件数 (単位: 件)

内 容	取扱件数
新規許可申請受付	- ( - )
消滅事由該当届出数	- ( - )
申請・表示事項変更届出数	- ( - )

表7- (1) -オ- (エ) 特別用途食品に対する検査・指導件数 (単位: 件)

管内で製造される特別用途食品数	実検査食品数	延検査・指導食品数
- ( - )	- ( - )	- ( - )

( ) 内は、特定保健用食品再掲

カ 食生活に関する正しい知識の普及啓発指導

表7- (1) -カ 食生活に関する正しい知識の普及啓発指導状況

個 別		集団指導		
内容	延人員	内容	延回数	延参加者数
-	-	管理栄養士によるミニ講座、 山武地域食育活動交換会等	4	644



(2) 給食施設指導

管内の給食施設（122施設）に対し、個別指導及び集団指導を実施した。

個別指導（給食施設巡回指導）において、栄養士が配置されていない給食施設に対し特に栄養管理・衛生管理についての指導強化に努めた。

集団指導として、給食施設の管理者及び従事者を対象に講習会を2回開催した。栄養に関する最新情報の提供や大量調理施設衛生管理マニュアルを中心とした衛生知識の普及を図り、給食施設関係者の資質の向上に努めた。

給食施設状況

表7-(2) 給食施設状況

(単位：件)

施設 総数	管理栄養士の みいる施設		管理栄養士 栄養士 どちらも いる施設			栄養士 のみ いる施設		管理栄養士・ 栄養士 どちらも いない施設	管理栄養士 必置指定 施設		調理師の いる施設		調理師の いない 施設	栄養成分 表示施設	栄養教育 実施施設
	施設 数	管理栄養士 数	施設 数	管理栄養士 数	栄養士 数	施設 数	栄養士 数		施設 数	管理栄養士 数	施設 数	調理師 数			
122	36	38	22	34	32	27	29	37	3	9	113	335	9	115	72

ア 給食施設指導状況

表7-(2)-ア 給食施設指導状況

(単位：件)

区分		計	特定給食施設		その他の 給食施設	
			1回300 食以上 又は 1日750 食以上	1回100 食以上 又は 1日250 食以上		
個別 指導	給食管理指導	巡回個別指導施設数	120	24	73	23
		その他指導施設数	132	31	72	29
	喫食者への栄養・運動指導延人員	—	—	—	—	
集団 指導	給食管理指導	回数	2	2	2	2
		延施設数	139	23	94	22
	喫食者への 栄養運動指導	回数	—	—	—	—
		延人員	—	—	—	—

イ 給食施設個別巡回指導

表7-(2)-イ 給食施設個別巡回指導状況

	総施設数	総指導施設数	管理栄養士・栄養士配置状況								
			管理栄養士のみ いる施設		管理栄養士・栄養士 どちらもいる施設		栄養士のみ いる施設		どちらもいない 施設		
			施設数	指導 施設数 (再掲)	施設数	指導 施設数 (再掲)	施設数	指導 施設数 (再掲)	施設数	指導 施設数 (再掲)	
合計	122	120	37	35	21	21	27	27	37	37	
指定施設 ①	計	3	3	-	-	3	3	-	-	-	-
	学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	病院	3	3	-	-	3	3	-	-	-	-
	介護老人保健施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	老人福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	児童福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	社会福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	事業所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	寄宿舎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	矯正施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自衛隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	一般給食センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
300食/回, 750食/日以上 (指定施設を除く) ②	計	21	21	13	13	1	1	4	4	3	3
	学校	20	20	12	12	1	1	4	4	3	3
	病院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	介護老人保健施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	老人福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	児童福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	社会福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	事業所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	寄宿舎	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-
	矯正施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自衛隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	一般給食センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
100食/回, 250食/日以上 (①,②除く)	計	74	73	18	17	13	13	20	20	23	23
	学校	13	13	5	5	-	-	7	7	1	1
	病院	5	5	4	4	1	1	-	-	-	-
	介護老人保健施設	6	6	-	-	5	5	1	1	-	-
	老人福祉施設	14	13	6	5	7	7	1	1	-	-
	児童福祉施設	25	25	2	2	-	-	7	7	16	16
	社会福祉施設	2	2	1	1	-	-	1	1	-	-
	事業所	7	7	-	-	-	-	1	1	6	6
	寄宿舎	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-
	矯正施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自衛隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	一般給食センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-	
その他の給食施設	計	24	23	6	5	4	4	3	3	11	11
	学校	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-
	病院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	介護老人保健施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	老人福祉施設	8	8	2	2	4	4	2	2	-	-
	児童福祉施設	8	8	1	1	-	-	-	-	7	7
	社会福祉施設	2	2	1	1	-	-	-	-	1	1
	事業所	3	3	-	-	-	-	-	-	3	3
	寄宿舎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	矯正施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自衛隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	一般給食センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	2	1	1	-	-	-	1	1	-	-	

ウ 給食施設開始届・廃止（休止）届・変更届指導

表7-（2）-ウ 給食施設開始届・廃止（休止）届・変更届指導（単位：件）

	給食施設開始（再開）	給食施設廃止（休止）	給食施設変更届
届出数	4	3	19
指導数	11	3	10

エ 給食施設集団指導

表7-（2）-エ 給食施設集団指導状況

名称	開催年月日	対象者	参加者数	内容
給食施設衛生講習会	令和元年 6月12日	給食施設管理者及び従事者	155名	1 講演「給食施設の衛生管理について」 講師 長生健康福祉センター 食品機動監視課 2 説明「給食施設の栄養管理～給食施設栄養管理状況報告書について～」 説明者 山武健康福祉センター 地域保健課
給食施設研修会	令和2年 1月22日	給食施設管理者及び従事者（学校除く）	60名	講演「日本人の食事摂取基準（2020年版）について」 講師 淑徳大学看護栄養学部 栄養学科 教授 渡邊 智子 氏

（3）健康ちば協力店推進事業

表7-（3）-ア 健康ちば協力店登録状況

元年度登録件数			累計状況	
登録件数	変更件数	取消件数	登録累計数	実登録店舗数
0	0	0	22（内取消5）	17

表7-（3）-イ 健康ちば協力店推進事業実施状況

区分	飲食店等に対する普及啓発及び指導状況		登録後の協力店に対する指導			県民に対する普及啓発及び指導状況	
	回数	延人員	回数	延店舗数	延人員	回数	延人員
個別指導	0	0	0	0	0	0	0
集団指導	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0

## (4) 栄養関係団体等への育成・支援

表7-(4) 栄養関係団体等への育成・支援状況

組織状況及び活動状況			保健所による育成状況	
名 称	会員数 及び加入 組織数	活動内容	育成内容	延育成 人員
管内食生活改善協議会	479名	理事会・研修会・ 情報交換等	○理事会 平成31年4月9日、令和元年8月1日、10月3日、令和2年1月15日 ○総会及び研修会 令和元年5月14日 ○調理実習 令和元年10月3日 令和2年1月15日	45名  50名  84名
管内栄養士会	56名	理事会・研修会・ まちの保健室等 の「栄養相談」	理事会・研修会等の運営助言等	67名
管内東金調理師会 管内松尾調理師会	350名  150名	研修会・健康ちば 協力店登録推進	千葉県調理師講習会の講師や 会の運営助言等	15名

## (5) 市町への技術・助言支援等

表7-(5) 管内行政栄養士研究会等の開催状況

名 称	延回数	延参加人員	主な内容
管内行政栄養士 業務検討会	3	27名	事業検討、情報交換等 ・母子保健事業について ・糖尿病重症化予防について ・災害時栄養・食生活支援について ・食生活改善協議会事業について ・市町健康増進計画等について

## (6) 調理師試験及び免許関係

表7-(6) 調理師試験及び免許取扱状況

(単位：名)

年 度	調 理 師 試 験			免 許 交 付		
	受験者数	合格者数	合格率(%)	新規交付	書換交付	再交付
平成29年度	41	27	65.9	50	12	15
平成30年度	46	27	58.7	45	8	15
令和元年度	50	36	72.0	58	9	14

## 8 歯科保健事業

難病患者及びその家族に対し、歯・口腔内の健康の維持増進を図ることを目的に、口腔ケアの重要性や方法等について講演会及び実習を行った。

### (1) 難病及び障害者等歯科保健サービス事業

表 8 - (1) 難病及び障害者等歯科保健サービス事業実施状況

名 称	対象者	開催月日	内 容	参加 人員
難病及び障害者 等歯科保健サー ビス	障害者 家族	令和2年 2月19日	講話・実習 「歯と口腔内の健康教室」 講師 ほりずみ歯科医院 院長 堀角 達朗 氏 歯科衛生士 高根沢 隆子 氏	18名

## 9 精神保健福祉事業

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づき、保健所は精神保健福祉行政の第一線機関として位置付けられており、法律に基づく入院事務等の業務と併せ精神保健福祉相談員や保健師等による相談及び訪問をベースに専門性や広域での連携や調整が必要な事項について市町村、医療機関、障害福祉サービス事業所等の地域の支援機関と連携を図り受療援助、精神障害者の社会復帰支援、普及啓発など地域精神保健福祉活動を実施した。

### (1) 管内精神科病院と入院等の状況

管内保健所における精神科病院の状況及びその病院に入院している患者の状況を把握する。

9－(1)－ア 管内病床数・入院患者の状況（令和元年6月30日現在）

(単位:件)

区分 年度 市町	管 内 人 口	精 神 科 病 院 数	病 床 数	人 口 万 対 病 床 数	入 県 内 病 院 者 へ の 数	人 口 万 対 入 院 患 者 数	管内の患者の入院先（再掲）					
							圏内の病院への入院患者数				圏外の病院への入院患者数	
							管内病院		管外病院			
							数	%	数	%	数	%
平成29年度	206,227	1	374	18.1	341	16.5	204	59.8	26	7.6	111	32.5
平成30年度	203,589	1	374	18.4	343	16.8	212	61.8	26	7.6	105	30.6
令和元年度	201,326	1	374	18.6	364	18.1	212	58.2	29	8.0	123	33.8
東金市	58,863	1	374	63.5	114	19.4	91	79.8	10	8.8	13	11.4
山武市	49,451	0	0	0.0	88	17.8	43	48.9	3	3.4	42	47.7
大網白里市	48,118	0	0	0.0	79	16.4	36	45.6	12	15.2	31	39.2
九十九里町	15,158	0	0	0.0	42	27.7	29	69.0	2	4.8	11	26.2
芝山町	7,104	0	0	0.0	9	12.7	4	44.4	0	0.0	5	55.6
横芝光町	22,632	0	0	0.0	32	14.1	9	28.1	2	6.3	21	65.6
県全体	6,277,952	52	12,363	9.3	8,514	13.6	5,307	62.3	975	11.5	2,253	26.5

※人口は、各年7月1日現在。(千葉県毎月常住人口調査による)

表9－(1)－イ 管内病院からの届出等の状況

(単位:件)

種別 年度	医療保護 入院届(家 族等の同 意)	応急入院 届	医療保護 入院届の 退院届	措置症状 消退届	措置入院 定期病状 報告書	医療保護 入院定期 病状報告	その他
平成29年度	391	1	382	14	12	179	2
平成30年度	423	0	422	18	8	183	0
令和元年度	425	0	421	15	8	187	1

※その他は、転院許可申請(1)件、仮退院申請(0)件、再入院届(0)件の合計

(2) 措置入院関係

管内において精神保健福祉法第 22 条から第 27 条第 2 項までの措置事務、措置診察を行った対象者の病名、入院期間。申請、通報、届出に関する相談や臨場等を行った支援実績、第 29 条の 2 の 2 の移送業務。

表 9 - (2) - ア 申請・通報・届出及び移送処理状況

(単位：件)

申請通報等の別	申請・通報 届出件数	診察の必要 がないと認 めた者	法第27条の診察を受けた者			法第29条の2の診察を受けた者			法第29条の2の2の 移送業務		
			法第29条 該当症状 の者	その他の 入院形態	通院・ その他	法第29条 の2該当 症状の者	その他の 入院形態	通院・ その他	1次 移送	2次 移送	3次 移送
平成29年度	49	36	13	0	1	5	0	0	0	0	5
平成30年度	41	29	12	0	0	2	0	0	0	0	5
令和元年度	29	11	15	1	0	9	1	0	0	0	0
法第22条 一般人からの申請	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第23条 警察官からの通報	14	6	6	1	0	6	1	0	0	0	0
法第24条 検察官からの通報	6	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0
法第25条 保護観察所の長からの通報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第26条 矯正施設の長からの通報	注1 6	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第26条の2 精神科病院管理者からの届出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第26条の3 医療観察法に基づく指定医療機 関管理者及び保護観察所長から の通報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第27条第2項 申請通報に基づかない診察	3	0	3	0	0	3	0	0	0	0	0

※1 「申請・通報・届出件数」は受理日で集計

2 「法第29条の2該当症状の者」は、法第27条の診察を受けた者の内数

3 1次・2次移送は、診察までの移送、3次は措置決定後の病院までの移送

注1 年度内結果未確定1件を含む

表 9 - (2) - イ 措置診察を受けた対象者の病名

(単位：件)

病名	総 数	統 合 失 調 症 等	気 分 障 害	器質性 精神障害		中毒性 精神障害			神 経 症 性 障 害 等	パ ー ソ ナ リ テ イ 障 害	知 的 障 害	て ん か ん	そ の 他 の 精 神 障 害	そ の 他
				認 知 症	そ の 他	ア ル コ ー ル	覚 せ い 剤	そ の 他						
				F0		F1								
年 度 結 果		F2	F3	F00 ～ F03	F04 ～ F09	F10	F15		F4	F6	F7	G40		
平成29年度	13	10	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
平成30年度	12	10	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和元年度	17	10	3	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0
診 察 実 施	要措置	15	10	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	不要措置	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緊 急 措 置 診 察 実 施 不 要 措 置	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0

※1 緊急措置診察を実施した結果、措置不要となった者 1名

2 緊急措置入院中に措置解除となった者 0名

3 その他には病名不詳を含む。

4 F0～F9、G40 は、世界保健機関（WHO）の国際疾病分類（ICD カテゴリー）の分類。

表9－(2)－ウ 管内病院における入院期間別措置入院患者数(令和2年3月31日現在)(単位:人)

入院期間 年度	総数	6カ月未満	6カ月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上
平成29年度	5	1	0	1	3
平成30年度	3	1	0	0	2
令和元年度	8	6	1	0	1

表9－(2)－エ 申請・通報・届出関係の相談等(令和2年3月31日現在)(単位:人)

性・年齢 区分	実数	性			年齢					延回数
		男	女	不明	20歳 未満	20歳 ～ 39歳	40歳 ～ 64歳	65歳 以上	不明	
相談	8	3	5	0	0	1	5	2	0	10
訪問	20	13	7	0	0	4	14	2	0	48
電話	25	18	7	0	1	11	12	1	0	347

(3) 医療保護入院のための移送(法34条)

指定医の診察の結果、精神障害者であり、かつ直ちに入院させなければその者の医療及び保護を図る上で、著しく支障が認められるものの、本人の治療同意が得られない場合、その家族等のうちいずれかの者の同意がある時は、医療保護入院させるために知事の権限で応急指定病院に移送することができる。

表9－(3) 医療保護入院のための移送処理状況(単位:件)

年度	区分	受付件数	指定医の診察件数	移送件数
平成29年度		0	0	0
平成30年度		0	0	0
令和元年度		0	0	0



(4) 精神保健福祉相談・訪問指導実施状況

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第47条により、精神保健福祉相談員等又は医師をして精神障害者及び家族等からの相談に対し相談・訪問・電話等で対応している。

表9－(4)－ア 精神科嘱託医による定例相談

実施日	時間	場所
毎月 第1・3水曜日	14:30～16:30	健康福祉センター（保健所）
毎月 第2・4水曜日	14:00～16:00	健康福祉センター（保健所）

表9－(4)－イ 対象者の性・年齢 (単位：人)

性・年齢 区分	実数	性			年 齢					延回数
		男	女	不明	20歳未満	20歳～39歳	40歳～64歳	65歳以上	不明	
平成29年度	89	58	31	0	3	29	45	9	3	267
平成30年度	78	42	36	0	2	22	38	15	1	204
令和元年度	<b>88</b>	<b>59</b>	<b>29</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>32</b>	<b>38</b>	<b>17</b>	<b>1</b>	<b>199</b>
東金市	30	18	12	0	0	4	19	7	0	94
山武市	27	23	4	0	0	15	9	3	0	41
大網白里市	9	6	3	0	0	5	3	1	0	16
九十九里町	10	4	6	0	0	2	6	2	0	28
芝山町	2	2	0	0	0	0	0	2	0	2
横芝光町	6	3	3	0	0	4	0	2	0	11
管外・不明	4	3	1	0	0	2	1	0	1	7
相談	62	44	18	0	0	25	28	8	1	94
訪問	26	15	11	0	0	7	10	9	0	105

※1 同一人により相談を3回・訪問を2回した場合、相談実数1、訪問実数1、計2となり、延回数は5回となる。  
2 電話相談は計上していない。

表9－(4)－ウ 電話・メール相談延件数 (単位：件)

	計	男性	女性	不明
電話	1,551	926	603	22
メール	3	3	0	0

表9－(4)－エ 相談の種別 (延数)

(単位：件)

種別 区分	総数	精神障害に関する相談				中毒性精神障害に関する相談			ギャンブルの相談	摂食障害の相談	心の健康相談	思春期の相談	老年期の相談	てんかん	その他の相談	
		関診する療科	社会復帰等	生活支援	その他の相談	アルコール	覚せい剤	その他の中毒								
平成29年度	197	89	17	17	36	9	8	0	0	0	8	0	13	0	0	
平成30年度	199	77	14	16	28	9	8	0	0	0	5	0	40	0	2	
令和元年度	<b>199</b>	<b>77</b>	<b>14</b>	<b>16</b>	<b>28</b>	<b>9</b>	<b>8</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>5</b>	<b>0</b>	<b>40</b>	<b>0</b>	<b>2</b>	
相談	計	94	30	9	3	25	5	1	0	0	0	5	0	15	0	1
	男	64	18	6	2	17	5	1	0	0	0	2	0	12	0	1
	女	30	12	3	1	8	0	0	0	0	0	3	0	3	0	0
訪問	計	105	47	5	13	3	4	7	0	0	0	0	0	25	0	1
	男	67	28	0	10	3	1	0	0	0	0	0	0	25	0	0
	女	38	19	5	3	0	3	7	0	0	0	0	0	0	0	1

表9－(4)－オ 援助の内容 (延数)

(単位：件)

種別 年度	総数	医学的指導	受療援助	生活生活指導支援	社会復帰援助	紹介・連絡	関係機関調整 方針協議	その他
平成29年度	369	30	24	50	26	42	143	54
平成30年度	455	18	21	30	21	58	144	163
令和元年度	<b>437</b>	<b>11</b>	<b>20</b>	<b>25</b>	<b>30</b>	<b>14</b>	<b>174</b>	<b>163</b>

(注) 援助内容は重複あり

表9－(4)－カ 精神障害者の退院後支援相談対応件数

	支援計画対象者	本人同意あり		計画に基づく支援者
		本人同意あり	会議開催数	
合計	1	1	1	1
東金市	1	1	1	1
山武市	0	0	0	0
大網白里市	0	0	0	0
九十九里町	0	0	0	0
芝山町	0	0	0	0
横芝光町	0	0	0	0

(5) 精神障害者社会復帰関係

平成2年度から実施してきたデイケアクラブは、デイケア施設や地域活動支援センター等の社会資源が増加したことに鑑み、平成27年度で終了した。平成28年度からはデイケアクラブOBのフォローアップの機会と当事者同士の交流、お互いの支え合い（ピアサポート）の場としてピアサポート交流会を開催してきたが、令和元年度からは地域包括ケアシステム構築推進事業（委託事業）の中で実施されており当所も参画支援を行っている。

表9-(5)-ア デイケアクラブ

実施日	時間	内容

表9-(5)-イ デイケアクラブの活動状況 (単位：人)

区分 年度	開催回数	参加者					
		実人員			延人員		
		計	男	女	計	男	女
平成29年度							
平成30年度							
令和元年度							

表9-(5)-ウ 当事者支援の実施状況 (単位：人)

区分 年度	開催回数	参加者					
		実人員			延人員		
		計	男	女	計	男	女
平成29年度	3	13	7	6	23	13	10
平成30年度	4	28	12	26	82	32	50
令和元年度	—	—	—	—	—	—	—

(6) 地域精神保健福祉関係

地域における精神障害についての正しい知識の普及等を目的に、家族会と共催で研修会を行った。また、自助グループ（家族会、当事者グループ等）の育成及び活動支援を行っている。

表9－(6)－ア 家族教室・断酒教室・ボランティア講座・心の健康市民講座等

教室・講座等の名称	開催日	受講者数		内 容
		実件数	延件数	
-	-	-	-	-

表9－(6)－イ 組織育成 (単位：件)

種別 区分	総 数	家族会	断酒会	その他 (当事者グループ)
支援延件数	24	12	0	12

(7) 心神喪失者等医療観察法関係

「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律」の対象者に対し、医療機関・地域が連携して一体的なケアを提供するため、医療機関や保護観察所主催の処遇検討会議に参加し、地域において訪問等の支援を実施している。

表9－(7) 医療観察法に係る会議への参加 (単位：件)

会議種別	CPA会議	ケア会議	その他
参加回数	2	6	0

- ・平成17年から医療観察法が施行されたことに伴い、健康福祉センター（保健所）においても各種会議への参加等が求められている。
- ・「その他」は、CPA会議(Care Program Approachの略)とケア会議以外の会議に参加した者を計上している。

## 10 肝炎治療特別促進事業

B型ウイルス性肝炎及びC型ウイルス性肝炎の治癒を目的として、平成20年度からインターフェロン治療、平成22年度から核酸アナログ製剤治療、平成23年度からインターフェロン3剤併用療法への医療費助成制度が開始され、窓口相談・申請手続き業務を行っている。平成26年度にはインターフェロンフリー治療が助成対象となり、助成対象薬剤が拡充された。

表10－(1) 肝炎治療特別促進事業受給者状況 (単位：人)

治療 年度・市町	核酸アナログ 製剤	インターフェロン	インターフェロン フリー
平成29年度	88	1	84
平成30年度	96	1	72
令和元年度	100	1	55
東金市	32	0	15
山武市	17	0	11
大網白里市	32	0	11
九十九里町	7	0	5
芝山町	1	0	2
横芝光町	11	1	11

## 11 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業

B型・C型ウイルスに起因する肝がん・重度肝硬変患者の医療費の負担軽減を図りつつ、最適な治療を選択できるようにするための研究を促進する仕組みを構築することを目的として平成30年12月から助成が開始され、窓口相談・申請手続き業務を行っているが、現在のところ当センターでの取り扱いはない。

表11－(1) 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者状況 (単位：人)

治療 年度・市町村	肝がん	重度肝硬変	総数
令和元年	0	0	0
東金市	0	0	0
山武市	0	0	0
大網白里市	0	0	0
九十九里町	0	0	0
芝山町	0	0	0
横芝光町	0	0	0

## 1 2 難病対策事業

原因不明で治療方法が確立していない特定疾患 56 疾患の患者に対し、医療費の自己負担を助成していたが、平成 27 年 1 月 1 日に「難病の患者に対する医療等に関する法律」（難病法）が施行され、厚生労働大臣の定める 333 疾患（令和元年 7 月 1 日現在）に拡大された。

令和元年度末の特定医療費（指定難病）受給者は 1,442 名であり、受給者数は前年度からほぼ横ばいで推移している。

なお、現行の特定疾患治療研究事業は 1 疾患 2 名の受給である。

また、これらの患者やその家族が抱える医療や療養生活に関する問題等に対し、専門医による相談、保健師等による訪問指導や窓口相談を実施した。

表 1 2 - (1) 特定疾患治療研究費受給者状況

(単位：件)

年 度・市町村別 疾 患 名	平 成 29 年 度	平 成 30 年 度	令 和 元 年 度	東 金 市	山 武 市	大 網 白 里 市	九 十 九 里 町	芝 山 町	横 芝 光 町
総 数	4	3	2	2	0	0	0	0	0
5 スモン	4	3	2	2	0	0	0	0	0

※0 の疾患は省略

表 1 2 - ( 2 ) 指定難病医療費助成制度受給者状況

(単位：件)

年度・市町別 疾患名 下段：重症(内数)	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	令和 元 年度	東 金 市	山 武 市	大 網 白 里 市	九 十 九 里 町	芝 山 町	横 芝 光 町
総 数	1,439	1,431	1,442	422	391	307	110	57	155
0010 球脊髄性筋萎縮症	2	2	1	0	0	0	0	0	1
0020 筋萎縮性側索硬化症	14	17	16	4	3	3	3	0	3
0030 脊髄性筋萎縮症	0	0	2	0	1	1	0	0	0
0050 進行性核上性麻痺	16	16	15	5	5	0	3	0	2
0060 パーキンソン病	183	188	199	67	50	40	16	9	17
0070 大脳皮質基底核変性症	7	9	13	4	3	3	1	1	1
0080 ハンチントン病	2	2	2	2	0	0	0	0	0
0110 重症筋無力症	38	39	44	10	17	7	2	4	4
0130 多発性硬化症／視神経脊髄炎	23	22	21	10	5	2	1	1	2
0140 慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	1	1	1	0	0	0	1	0	0
0160 クロウ・深瀬症候群	0	1	1	0	0	1	0	0	0
0170 多系統萎縮症	18	18	17	5	2	3	4	0	3
0180 脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	41	40	41	11	10	12	2	1	5
0220 もやもや病	21	22	23	4	11	5	0	0	3
0230 プリオン病	0	0	1	1	0	0	0	0	0
0260 HTLV-1関連脊髄症	1	1	1	0	1	0	0	0	0
0280 全身性アミロイドーシス	2	5	6	2	1	1	0	1	1
0300 遠位型ミオパチー	0	1	1	0	1	0	0	0	0
0340 神経線維腫症	6	9	10	4	3	1	0	0	2
0341 I型	5	5	6	1	2	1	0	0	2
0342 II型	1	4	4	3	1	0	0	0	0
0350 天疱瘡	6	5	4	1	1	1	0	0	1
0360 表皮水疱症	1	1	1	0	1	0	0	0	0
0370 膿疱性乾癬(汎発型)	4	3	3	2	1	0	0	0	0
0400 高安静脈炎	5	5	8	2	2	2	0	0	2
0410 巨細胞性動脈炎	2	1	4	2	1	0	0	1	0
0420 結節性多発動脈炎	3	5	4	0	2	1	0	1	0
0430 顕微鏡的多発血管炎	24	27	23	9	8	3	1	0	2
0440 多発血管炎性肉芽腫症	5	6	5	1	1	1	2	0	0
0450 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	7	8	9	0	6	1	1	0	1
0460 悪性関節リウマチ	18	19	17	5	3	4	2	2	1
0470 バージャー病	2	2	2	1	1	0	0	0	0
0480 原発性抗リン脂質抗体症候群	1	1	1	0	0	0	0	0	1

疾患名 下段:重症(内数)	年度・市町別	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年度	東 金 市	山 武 市	大 網 白 里 市	九 十 九 里 町	芝 山 町	横 芝 光 町
0490 全身性エリテマトーデス		122	118	120	45	21	28	10	8	8
0500 皮膚筋炎／多発性筋炎		34	32	33	5	10	8	4	1	5
0510 全身性強皮症		48	44	41	14	7	11	2	3	4
0520 混合性結合組織病		13	13	13	4	4	3	0	0	2
0530 シェーグレン症候群		7	9	9	6	3	0	0	0	0
0540 成人スチル病		4	4	3	0	1	1	0	0	1
0550 再発性多発軟骨炎		1	1	1	0	0	1	0	0	0
0560 ベーチェット病		35	33	34	10	9	7	4	0	4
0570 特発性拡張型心筋症		38	32	28	5	9	4	2	2	6
0580 肥大型心筋症		4	3	4	1	2	1	0	0	0
0590 拘束型心筋症		0	0	1	0	0	0	0	0	1
0600 再生不良性貧血		17	14	13	6	3	2	0	0	2
0610 自己免疫性溶血性貧血		2	0	1	0	0	0	0	0	1
0620 発作性夜間ヘモグロビン尿症		0	1	2	2	0	0	0	0	0
0630 特発性血小板減少性紫斑病		40	40	29	4	13	3	2	4	3
0650 原発性免疫不全症候群		1	1	1	0	1	0	0	0	0
0660 IgA腎症		12	12	9	2	4	2	0	1	0
0670 多発性嚢胞腎		7	8	8	1	2	2	1	0	2
0680 黄色靭帯骨化症		10	11	4	0	4	0	0	0	0
0690 後縦靭帯骨化症		73	70	61	12	21	12	7	2	7
0700 広範脊柱管狭窄症		5	3	3	0	0	0	1	1	1
0710 特発性大腿骨頭壊死症		25	30	25	6	6	8	2	0	3
0720 下垂体性ADH分泌異常症		2	2	2	2	0	0	0	0	0
0722 中枢性尿崩症		2	2	2	2	0	0	0	0	0
0730 下垂体性TSH分泌亢進症		0	1	1	1	0	0	0	0	0
0740 下垂体性PRL分泌亢進症		3	4	3	0	1	2	0	0	0
0750 クッシング病		4	4	4	2	1	1	0	0	0
0770 下垂体性成長ホルモン分泌亢進症		5	5	6	1	2	2	1	0	0
0780 下垂体前葉機能低下症		14	14	17	7	0	3	3	1	3
0810 先天性副腎皮質酵素欠損症		1	0	0	0	0	0	0	0	0
0840 サルコイドーシス		30	31	36	13	11	9	0	1	2
0850 特発性間質性肺炎		27	28	34	10	6	10	3	3	2



年度・市町別 疾患名 下段:重症(内数)	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年度	東 金 市	山 武 市	大 網 白 里 市	九 十 九 里 町	芝 山 町	横 芝 光 町
0860 肺動脈性肺高血圧症	3	2	2	1	1	0	0	0	0
0880 慢性血栓性肺高血圧症	4	4	4	0	1	1	0	0	2
0890 リンパ管筋腫症	2	2	2	1	0	0	1	0	0
0900 網膜色素変性症	56	53	45	17	14	5	3	0	6
0910 バッド・キアリ症候群	2	0	0	0	0	0	0	0	0
0930 原発性胆汁性胆管炎	24	25	24	8	8	6	1	0	1
0940 原発性硬化性胆管炎	0	1	1	0	0	0	0	0	1
0950 自己免疫性肝炎	9	11	12	2	5	3	0	0	2
0960 クローン病	53	53	51	14	12	13	4	3	5
0970 潰瘍性大腸炎	202	176	188	53	47	49	15	4	20
1130 筋ジストロフィー	2	2	2	0	2	0	0	0	0
1170 脊髄空洞症	2	3	3	0	1	1	0	0	1
1270 前頭側頭葉変性症	1	0	2	1	0	0	0	0	1
1380 神経細胞移動異常症	0	1	1	0	0	0	1	0	0
1450 ウエスト症候群	0	0	1	0	1	0	0	0	0
1580 結節性硬化症	0	1	1	1	0	0	0	0	0
1620 類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	4	7	4	1	1	1	0	0	1
1670 マルフアン症候群	3	5	5	1	3	0	1	0	0
1710 ウィルソン病	1	1	1	0	1	0	0	0	0
1910 ウェルナー症候群	1	1	1	0	1	0	0	0	0
2100 単心室症	1	2	2	1	1	0	0	0	0
2120 三尖弁閉鎖症	0	0	1	0	0	0	0	0	1
2140 心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	1	1	0	0	0	0	0	0	0
2150 ファロー四徴症	1	1	1	0	0	1	0	0	0
2220 一次性ネフローゼ症候群	11	13	16	2	3	7	2	2	0
2230 一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	1	1	0	1	0	0	0	0
2260 間質性膀胱炎（ハンナ型）	1	2	1	0	0	1	0	0	0
2270 オスラー病	0	0	1	0	0	1	0	0	0
2350 副甲状腺機能低下症	0	1	1	1	0	0	0	0	0
2710 強直性脊椎炎	4	4	6	2	1	1	0	0	2
2830 後天性赤芽球癆	1	0	0	0	0	0	0	0	0
2970 アラジール症候群	1	0	0	0	0	0	0	0	0
3000 IgG4関連疾患	2	2	2	2	0	0	0	0	0
3060 好酸球性副鼻腔炎	10	12	15	3	6	3	0	0	3
3310 特発性多中心性キャッスルマン症	0	0	3	0	0	2	1	0	0

(3) 先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況

表 1 2 - (3) 先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況 (単位：人)

年度	総数	東金市	大網白里市	山武市	九十九里町
平成 29 年度	6	2	2	1	1
平成 30 年度	6	2	2	1	1
令和元年度	8	3	2	2	1

(4) 難病相談事業

ア 在宅療養支援計画策定・評価事業

要支援難病患者に対し、きめ細やかな支援を行うため、在宅療養支援計画の策定・評価を行う。平成 28 年度以降実施は無く、ケアマネージャー等が主催する支援会議に出席した。

イ 訪問相談事業

(ア) 訪問相談員派遣事業

表 1 2 - (4) - イ - (ア) 訪問相談員派遣事業実施状況

年度	区分	人 数	回 数	実 人 員	延 人 員
平成 29 年度		6	35	12	35
平成 30 年度		6	33	12	33
令和元年度		4	24	9	24

(イ) 訪問相談員育成事業

表 1 2 - (4) - イ - (イ) 訪問相談員育成事業実施状況

区分 年度	月 日	主 な 内 容	職 種	人数
平成 29 年度	5 月 2 日	指定難病医療費助成制度及び更新申請について 難病相談事業について 訪問事例について	保健師・看護 師・その 他	7名
平成 30 年度	5 月 7 日	指定難病医療費助成制度及び更新申請について 難病相談事業について 事例検討	保健師・看護 師・その 他	7名
	12 月 13 日	神経難病講演会 「神経難病を地域で支える～私たちができること～」 講師 国際医療福祉大学医学部 教授 荻野 美恵子氏	医療・保 健・看護・ 福祉等関係 者	46名
令和 元年度	5 月 8 日	指定難病医療費助成制度及び更新申請について 難病相談事業について 事例検討	保健師・看護 師・その 他	3名

ウ 医療相談事業

表 1 2 - ( 4 ) - ウ 医療相談事業実施状況

実施日	参加人数	実施会場	対象疾患	実施内容	従事者人数
令和元年7月1、3、5、9、10、12、17、19日	31名	山武健康福祉センター	指定難病全疾患	専門職による個別相談	8名
令和元年7月12日	2名	成田赤十字病院	脊髄小脳変性症	交流会 * 印旛山武地域難病相談支援センター・印旛健康福祉センターと共催	1名
令和元年9月20日	23名	山武健康福祉センター	網膜色素変性症	1 講演「網膜色素変性症の基礎知識と治療」 講師 千葉大学医学部附属病院眼科医員 伊藤奈々氏 2 交流会 * 患者会「カトレアの会」と共催	5名
令和元年11月11日	19名	山武健康福祉センター	炎症性腸疾患	1 講演「炎症性腸疾患の基礎知識と最新情報」 講師 辻仲病院柏の葉消化器内科部長 竹内健氏 2 個別相談	6名

エ 訪問指導事業

表 1 2 - ( 4 ) - エ 訪問指導事業実施状況(疾患別) (単位：件)

疾患名	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総数	37	81	103
筋萎縮性側索硬化症	28	53	44
進行性核上性麻痺	0	1	0
パーキンソン病	0	3	14
大脳皮質基底核変性症	0	2	2
重症筋無力症	0	0	1
多発性硬化症	1	5	2
多系統萎縮症	3	10	14
脊髄小脳変性症	1	2	1
モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	0	0	2
神経線維腫症	2	3	21
特発性拡張型(うっ血型)心筋症	0	0	0
後縦靭帯骨化症	0	2	1
サルコイドーシス	2	0	0
筋ジストロフィー	0	0	1

オ 窓口相談事業

表 1 2 - ( 4 ) - オ 相談内容

(単位：人)

内 容	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
相 談 者 数 ( 延 )	62	106	222
申 請 等	62	32	28
医 療	38	60	76
家 庭 看 護	27	40	59
福 祉 制 度	18	4	25
就 労	0	1	1
就 学	0	0	1
食 事 ・ 栄 養	5	0	1
歯 科	0	0	0
そ の 他	28	50	31

1 3 受動喫煙対策

健康増進法により、令和元年7月1日に子どもや患者等が主な利用者となる施設は原則敷地内禁煙となった。また、令和2年4月1日から多くの人が利用する全ての施設において原則屋内禁煙となる。施設からの問合せや県民からの苦情等に基づく助言・指導等を行うとともに、指導によって改善が認められない場合等必要に応じて立入検査を実施した。なお、既存の講習会等の機会を通じて受動喫煙対策の普及啓発に努めた。

表 1 3 - ( 1 ) - ア 問合せ・苦情届出状況

区分 年度	件 数	内 訳				
		第一種 施設	第二種 施設	喫煙目的 施設	旅客運送 事業	規制対象外
平成 29 年度	—	—	—	—	—	—
平成 30 年度	—	—	—	—	—	—
令和元年度	57	35	22	0	0	0

表 1 3 - ( 1 ) - イ 立入検査状況

区分 年度	件 数	内 訳				
		第一種 施設	第二種 施設	喫煙目的 施設	旅客運送 事業	規制対象外
平成 29 年度	—	—	—	—	—	—
平成 30 年度	—	—	—	—	—	—
令和元年度	1	1	0	0	0	0

#### 14 市町支援

管内市町が実施主体の母子保健関連会議、地区組織育成、健康づくり推進協議会等に参加し、広域的、専門的な立場から支援を行った。

また、技術的支援として、要保護児童対策地域協議会の実務担当者会議や個別支援会議、保健師連絡会に担当者等が参加し、実践的な市町支援を行った。なお、台風による被災状況を把握し、必要な地域には保健師派遣の支援を行った。

##### (1) 市町への支援状況

表14- (1) 市町への支援状況

項目 市町	会 議 ・ 連 絡				技 術 的 支 援		
	会 議 名	回 数	職 種	主 な テ ー マ	事 業 名	回 数	職 種
東 金 市	東金市母子保健推進協議会総会	1	医1 保1	・平成30年度事業報告 ・平成31年度事業計画	東金市要保護児童対策地域協議会実務者会議	6	保6
	東金市健康づくり推進協議会	1	医1	・「とうがね健康プラン21(第2次)」の進捗状況		台風15号に係る保健師派遣	4
	東金市特別支援教育ネットワーク会議	1	保1	・活動の現状 ・情報交換			
	東金市食生活改善協議会定期総会	1	医1 栄1	・平成30年度活動報告 ・平成31年度活動計画			
	東金市要保護児童対策地域協議会代表者会議	1	福課1	・平成30年度活動報告 ・平成31年度活動方針			
山 武 市	山武市保健推進員協議会総会	1	保課1	・平成30年度活動報告 ・平成31年度活動計画	山武市要保護児童対策地域協議会実務者会議	1	保1
	山武市健康づくり推進協議会	1	保課1	・山武市健康づくり計画の実績及び実施計画		保健師連絡会	1
	山武市要保護児童対策地域協議会代表者会議	1	福課1	・平成30年度活動報告 ・各機関の取組状況	台風15号に係る保健師派遣	8	保17
大 網 白 里 市	大網白里市食生活改善協議会総会	1	次1 栄1	・平成30年度事業報告 ・平成31年度事業計画	大網白里市要保護児童対策協議会実務者会議	3	保3
					個別支援会議	1	保1

九 十 九 里 町	母子保健推進員会議	1	保 1	・平成 30 年度活動実績 ・平成 31 年度活動計画	九十九里町要 保護児童地域 対策協議会実 務者会議	2 2	保 2 家 2
	九十九里町食生活改善 協議会定例総会	1	医 1 栄 1	・平成 30 年度活動報告 ・平成 31 年度活動計画	個別支援会議	7	保 4 家 7
	九十九里町要保護児童 対策地域協議会代表者 会議	1	福課1	・平成 30 年度活動報告 ・平成 31 年度活動方針	台風 15 号に 係る保健師派 遣	6	保 20
芝 山 町	芝山町保健推進員協議 会総会	1	次 1 栄 1	・平成 30 年度事業報告 ・平成 31 年度事業計画	芝山町要保護 児童地域対策 協議会実務者 会議	2	保 2 家 2
	芝山町要保護児童対策 地域協議会代表者会議	1	福課1	・協議会概要	個別支援会議	2	家 2
横 芝 光 町	横芝光町食生活改善協 議会定例総会	1	医 1 栄 1	・平成 30 年度事業報告 ・平成 31 年度事業計画	横芝光町要保 護児童地域対 策協議会実務 者会議	2	保 2 家 2
					保健師活動業 務検討会	1	保 1
					台風 15 号に 係る保健師派 遣	5	保 8

※職種：医（所長）、次（次長）、保課（地域保健課長）、福課（地域福祉課長）

保（保健師）、栄（栄養士）、家（家庭相談員）

※一部地域福祉課の支援についても掲載。